

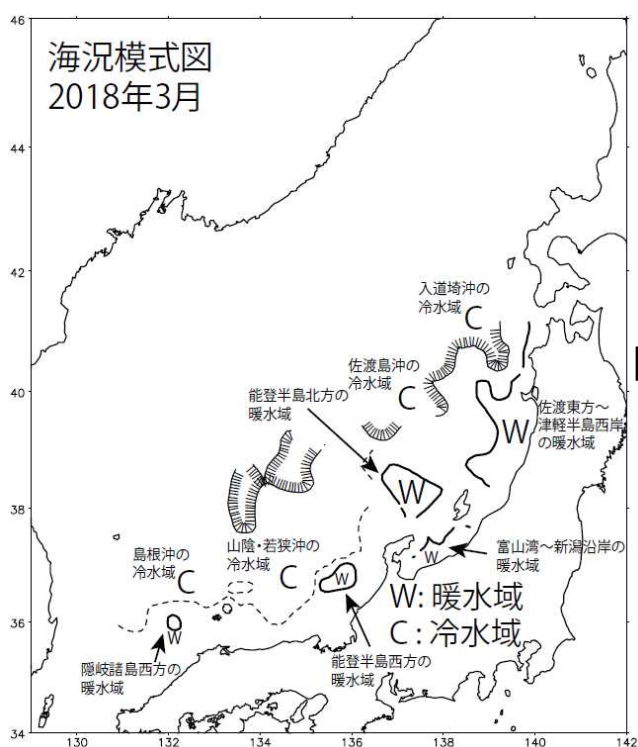
平成30年4月6日
 国立研究開発法人 水産研究・教育機構

平成30年度 第1回 日本海海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
 日本海区水産研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(平成30年4月中旬～6月)のポイント

- ・対馬暖流域の表面水温は、“平年並み”で経過する。
- ・対馬暖流域の50m深水温は日本海北部及び西部ともに“平年並み”で経過する。



2018年4月中旬～6月の海況

- 隠岐諸島西方の暖水域は北東に進み隠岐諸島北方に分布
- 能登半島西方の暖水域は、勢力を拡大しつつ北東に進み能登半島北方に分布
- 能登半島北方の暖水域は北東に進み、佐渡島北方に分布
- 富山湾～新潟沿岸の暖水域はやや北進し、佐渡島南西に分布
- 佐渡島東方～津軽半島西岸の暖水域は停滞
- 島根沖の冷水域の張り出しは規模、接岸状況とも平年並み
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは規模、接岸状況とも平年並み
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは規模はやや小さくやや離岸
- 入道埼沖の冷水域の張り出しは規模はやや小さくやや離岸

問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所

担当：業務推進部 加藤、後藤

資源環境部 渡邊、井桁

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.fra.go.jp/>

平成30年度 第1回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2018年4月中旬～6月）

- (1) 隠岐諸島西方の暖水域は北東に進み隠岐諸島北方に分布する。能登半島西方の暖水域は、勢力を拡大しつつ北東に進み能登半島北方に分布する。能登半島北方の暖水域は北東に進み、佐渡島北方に分布する。富山湾～新潟沿岸の暖水域はやや北進し、佐渡島南西に分布する。佐渡島東方～津軽半島西岸の暖水域は停滞する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模、接岸状況とも平年並みで経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模、接岸状況とも平年並みで経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さくやや離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さくやや離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“平年並み”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部及び西部ともに“平年並み”で経過する。

2. 経過（2017年11月～2018年2月）

- (1) 11月に隠岐諸島北方で見られた暖水域は12月、2月にはデータが少なく確認出来ない。11月に能登半島北西に見られた暖水域は、12月まで定在し、2月には東進して能登半島北方に分布。11月に津軽半島西岸に見られた暖水域は12月に勢力を弱めつつ定在した後に日本海から流失。隠岐東方では、12月に暖水域が出現した後に東進し、2月には若狭湾東部に分布。2月に山口北方、富山湾、佐渡島東方～津軽半島西岸に暖水域が出現。
- (2) 島根沖の冷水域は、11月、12月、2月は規模、接岸状況とも平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、11月は規模、接岸状況とも平年並み、12月は規模はやや大きく接岸状況は平年並み、2月は規模、接岸状況とも平年並み。佐渡島沖の冷水域は、11月、12月は規模、接岸状況とも平年並み、2月はデータが少なく不明。入道埼沖の冷水域は、11月は規模はやや大きくやや接岸、12月、2月は規模、接岸状況とも平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
11月は、津軽半島西方と島根北方で“やや高め”～“かなり高め”、鳥取沿岸、若狭湾、山形沿岸～佐渡北方、津軽半島で“かなり低め”～“はなはだ低め”、それ以外は“平年並み”～“やや低め”。
12月は、但馬北方、津軽半島西方で“かなり高め”～“はなはだ高め”、能登半島北方、富山湾、佐渡島北方、北海道西岸で“かなり低め”～“はなはだ低め”。2月は、隠岐諸島北方、佐渡東方～新潟沿岸、山形沿岸～西方、青森西方で“かなり低め”～“はなはだ低め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、11月は日本海北部及び西部ともに“平年並み”。

3. 現況（2018年3月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島西方、能登半島西方、能登半島北方、富山湾～新潟沿岸、佐渡島東方～津軽半島西岸に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模は平年並みやや離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、規模、接岸状況とも平年並み。佐渡沖の冷水域は、規模はやや小さくやや離岸。入道埼沖の冷水域は、規模はやや小さく接岸状況は平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、隠岐北方～但馬北方で“はなはだ低め”、新潟～山形沿岸、津軽半島西方で“かなり低め”、山口沿岸、富山湾で“やや高め”以外は“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部及び西部ともに“平年並み”。

(註) 引用符(“ ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| “はなはだ高め(低め)” | : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ) |
| “かなり高め(低め)” | : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ) |
| “やや高め(低め)” | : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ) |
| “平年並み” | : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産試験場	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター (取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所